

開催要項

Japan Volunteer Coordinators Conference

全国ボランティアコーディネーター研究集会2018

JVCC 2018 信州

大会テーマ

ここがミソ!

そばもコーディネーションも

「**つながぎ**」がかんじん

ヒト・モノ・コトから読み解き、未来を創造する

2018

3/3

土

10:30~17:30

(受付開始 10:00)

交流会

18:00~20:00

4

日

9:30~15:30

(受付開始 9:10)

会場：JA 長野県ビル・アクティールホール、もんぜんぶら座、
長野市生涯学習センター (TOiGO WEST 3・4階)

参加費：一般 12,000 円、JVCA 正会員・準会員 10,000 円 (WEB 早割は各々 1,000 円割引)
※別途交流会参加者 4,000 円 (希望者のみ)

定員：250名 ※締切前に定員に達した場合は、その時点で締切とさせていただきます。

申込締切：2018年2月2日(金) <<17:00必着>> WEB早割は1月26日(金)締切

平成29年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

主催 ● 全国ボランティアコーディネーター研究集会 2018 信州 実行委員会

認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)

協力 ● 社会福祉法人長野県社会福祉協議会、公益財団法人長野県長寿社会開発センター、特定非営利活動法人長野県NPOセンター

社会福祉法人長野県共同募金会、社会福祉法人長野市社会福祉協議会、公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー

JA長野中央会、長野県生活協同組合連合会

後援 ● 長野県、長野県教育委員会、長野市、社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人中央共同募金会

認定特定非営利活動法人日本NPOセンター、特定非営利活動法人国際協力NGOセンター、公益財団法人日本YMCA同盟

一般財団法人自治体国際化協会、一般財団法人児童健全育成推進財団、一般社団法人環境パートナーシップ会議、ESD活動支援センター

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会、特定非営利活動法人日本病院ボランティア協会

問い合わせ 全国ボランティアコーディネーター研究集会2018信州 実行委員会事務局 (特定非営利活動法人長野県NPOセンター内)
〒381-0034 長野県長野市大字高田1029-1 Tel : 026-269-0015 Fax : 026-269-0016
Email: jvcc2018@npo-nagano.org <https://jvcc2018.jimdo.com>

開催趣旨

この度、歴史あるJVCCの第24回全国集会在長野県で開催できることは、名誉なことであり大きな喜びを感じます。

昭和57年にボランティアコーディネーター（以下、VCo）が、長野県の主な地域に7人配置されました。誰もがVCoの仕事がどんなものであるかわかっていない時代です。7人は荒野にぽつんと立たされ、囲りは霧に包まれたように何も見えませんでした。その時、彼女たちは何を考え、どんなことを始めたのでしょうか。

あれから37年、今やボランティアがいなければ世の中が回らないほどになり、その中心で活躍しているのがVCoです。しかし、社会が複雑化し多様化する中で、内からも外からもVCoの仕事が見えにくくなり、悩むことが多くなっているような気がします。こんな時こそ原点に戻り、先輩たちが歩んできた道を紐解くことも一つの方法かもしれません。時代は違い変わっていても、気づくことがあるのではないのでしょうか。

人口の減少はとどまらず、ますます深刻化しています。消えてゆく自治体もあり、祭りは担える人がいないためにどんどんなくなっていく時代となっています。障害者や高齢者を自分たちの手で支え共に歩み、夢の持てる子供たちを育てる街づくり、地域づくりを進めていくためのキーパーソンは、VCoだと思います。かつて先輩たちは、荒地にボランティアの種をまき、ボランティアが楽しみながら活動できる場を開拓してきました。こんな時代だからこそ無限に広がるVCoの役割があるような気がします。

持続可能な社会をつくるため、JVCC2018信州が大きな力となることを期待し、皆さまとお会いできることを楽しみにお待ちしております。

全国ボランティアコーディネーター研究集会2018信州 実行委員長 山田千代子
(特定非営利活動法人長野県NPOセンター 代表理事)

参加対象

以下のような分野で実践経験を積んでいる方、分科会のテーマで課題意識を持って参加できる方

1. 社会福祉・介護、教育、環境、国際交流・協力、まちづくり、災害救援など様々な分野で活動するNPO・NGOで、ボランティアの受入れ・活動支援を担当するスタッフ
2. 高齢者福祉施設、障害者福祉施設、児童福祉施設などの**社会福祉施設**で、ボランティアの受入れ・活動支援を担当するスタッフ
3. **病院、医療関連施設**で、ボランティアの受入れ・活動支援を担当するスタッフ
4. 公民館、図書館、博物館、動物園、水族館などの**社会教育施設**や文化ホールなどの**文化芸術施設**、公立公園などの**公共空間**で、ボランティアの受入れ・活動支援を担当するスタッフ
5. 小・中・高校、専門学校、大学・短大などの**教育機関**で、児童・生徒・学生のボランティア学習などを推進している担当スタッフ（教職員、学生など）
6. **企業や労働組合**などで、社員・組合員のボランティア活動参加を支援する担当スタッフ
7. **国・自治体**などで市民や市民活動団体との「協働」の推進または職員のボランティア活動推進を担当するスタッフ
8. **ボランティアセンター、市民活動支援センター、国際交流協会**などのボランティア担当スタッフ、ボランティアコーディネーター
9. ボランティアコーディネーターまたはボランティアコーディネーションの**研究及び研修・養成**に関わっている方
10. 地域のさまざまな課題を解決するために市民の参加や組織の連携・協働を促進する役割のスタッフ・コーディネーター



会場案内

メイン会場 ① * 初日受付場所

JA長野県ビル・アクティールホール

長野市大字南長野北石堂町1177-3
TEL.026-236-3600

会場 ②

もんぜんぷら座

長野市南長野新田町 1485-1
TEL.026-219-0020

会場 ③

長野市生涯学習センター TOiGO WEST (トイゴ ウェスト)

長野市大字鶴賀問御所町 1271-3
TEL.026-233-8080

アクセス

- 北陸新幹線・JR 在来線等利用
JR 長野駅から徒歩約 10 分
- 信州まつもと空港利用
福岡空港及び新千歳空港から、
FDA の航空便があります。
信州まつもと空港から JR 松本駅まで、
シャトルバスで 30 分。
JR 松本駅から JR 長野駅まで、
特急しなので 50 分。



NAGANOへようこそ！

長野市は、全国に知られる善光寺の門前町として古くから賑わい、数えて7年に一度の御開帳には2ヶ月で770万人もの人が訪れる観光都市です。1998（平成10）年の冬季五輪で大きな感動を世界へ発信して以来、国際都市NAGANOとしてさらにグローバルなおもてなしの心が磨かれてきました。市内には当時の熱気を伝えるオリンピック施設をはじめ、数多くの歴史的建造物があります。春は水芭蕉・菜の花・あんず、夏は登山・ハイキング、秋は紅葉や栗・きのこをはじめ豊富な山菜、冬はスキー・スケートに温泉と、四季を通じて豊かな自然あふれる信州の楽しさが満喫できます。ぜひ充実した時間をお過ごしください。

信州そば

長野市内には50を超えるそば屋があり、その数は県下随一を誇ります。中でも戸隠は、日本三大そばの一つ「戸隠そば」で知られる本場です。また、善光寺門前にも数多くのそば店が並んでいます。善光寺詣りの後は、寺町のそばをお楽しみください。

味噌

「みそ」といえば、やはりコクのある「信州みそ」。門前のこだわりの「みそ」は地元でも愛されています。

精進料理

精進料理は、仏教の伝来とともにわが国に伝えられたものといわれています。野菜・海藻・大豆製品のみそ・納豆・ゆば・麩・乾物などを主材料として、胡麻や油を使い、簡素な中にも礼が重んじられる料理です。善光寺周辺の料理店や、善光寺の宿坊で味わえます。

松代（まつしろ）

真田十萬石の城下町松代は、文武や遊芸をたしなむ気風に富んだ町です。茶道・華道・邦楽などの伝統文化を楽しみ、歴史を学んだり、絵画や書の研さんを積むことが、人々の暮らしの中に根付いています。

【資料提供：公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー】

プログラムの構成

3月2日(金)「前日企画」開催 (オプションプログラム)

3月3日(土)

3月4日(日)

時間	内容	時間	内容
10:00 ~	受付開始	9:10 ~	受付開始
10:30 ~ 12:30	開会・オープニング全体会	9:30 ~ 13:00	分科会B
12:30 ~ 12:40	オリエンテーション	13:00 ~ 14:00	昼食休憩 (ランチ交流セッション)
12:40 ~ 13:50	昼食休憩 (ランチ交流セッション)	14:00 ~ 15:30	クロージング全体会・閉会
14:00 ~ 17:30	分科会A	15:30	全プログラム終了
17:30 ~ 18:00	会場移動	15:45 ~ 17:30	JVCA2018 年度通常総会
18:00 ~ 20:00	交流会 (有料・希望者のみ)		

プログラムの一覽

	分科会 No.	分野	テーマ
3月3日(土) 1日目	オープニング		原点を問う。未来を拓く。 ~コーディネーター あるある物語~
	A-1	社協	これでいいの？社協と社協ボラセン!! ぜったいにゆずれない社協魂が、ここにはある
	A-2	居場所	「まちの縁側」は住民自らがつくる地域の安心居場所 「まちの縁側のふりかけ」で劇的に変わる居場所! その「ふりかけ」とは?
	A-3	災害	災害時にも生きる つながりづくり まちづくり 我が事・丸ごとの防災・減災活動
	A-4	病院	【徹底分析】リスクマネジメントの実際に学ぼう! 病院ボランティア受け入れにおける事例を素材に
	A-5	困窮	生活困窮者支援の今! 最前線の実践から考える 制度施行3年を振り返り、これからを語り合おう
	A-6	社会教育	子ども・若者の育ちと大人の学びをつなげる 子ども・若者たちの力を引き出すコーディネーション力を磨く
	A-7	学校	“ガッコウ・チキの熱いカンケイ” 「ガチ」でやります! 学校と地域をつなぐコーディネーション
	A-8	住民力	中山間地からの発信 住民ってすごい!! つぶやきをひろい実現につなぐ そこにはみえないコーディネーション力が
	A-9	環境	都市と農山村の人々をつなぐ 森林ボランティア、援農、里山再生…地域活性の「キモ」
	A-10	若者	学生を公共の担い手へ 主体的な参画を促す仕組みや仕掛け
	A-11	基礎研修	施設・団体のボランティアコーディネーション ボランティアマネジメントの基本を身につける
	A-12	基礎研修	中間支援組織のボランティアコーディネーション 「つなぐ」だけで終わらないコーディネーションの基本を身につける
	交流会		交流会 ~おいでなして信州~ 情報交換・出会いの場です。大いに語り合い、交流を深めましょう!
3月4日(日) 2日目	B-1	伝える	知らぬ間に、誘導してしまっているかもしれない、これでいいの、あなたのコーディネーション 戦時下の情報伝達媒体を使って考えるコーディネーションのあり方
	B-2	人材育成	会議の場に活かされるコーディネーションのチカラ 「会議の見える化」の糸口としてのファシリテーショングラフィックを学ぶ
	B-3	コーディネーション力	振り返ればコーディネーションのヒントが見えてくる どうつなぐ? 活動へのつなぎ方、そして活動からのつなぎ方
	B-4	シニア	無限の創造力でシニアの持つ“ちから”を活かすコーディネーション コーディネーターの着想・発想・創造力でシニアの居場所と出番を考える
	B-5	災害	災害その時、求められるコーディネーション力 本質を捉える力と視野の広い専門性・柔軟性を身につけよう!
	B-6	子ども・貧困	“子どもと貧困”を考える 機会の平等実現のために地域社会は何ができるか…
	B-7	協働	ホンモノの協働とは!? 一緒に見てみませんか? 協働をコーディネーションしたい人のための勉強会
	B-8	障害・施設	コーディネーターは障害のある人が地域で暮らすためにどんな役割を果たしたか 地域に顔なじみの人をつくっていますか
	B-9	若者	「エモい」ボランティアってなんだろう? 若者×ボランティアのこれからを考える
	クロージング		信州発(初) ここがミソ! 未来へつなぐコーディネーション 私たちは何を問い続けるのか?
	総会		JVCA2018 年度通常総会 JVCA 会員の方はご出席をお願いします。会員以外の方も傍聴できます。JVCA ご入会希望の方はぜひお越しください。



プログラム案内

前日企画

3月2日(金) 夕方～夜

一足早く前日入りして、長野の風を肌で感じてください。
いずれも、夕方から夜にかけての企画です。

夕暮れまち歩き ～善光寺門前界限まちの縁側めぐり～

まちの縁側育みプロジェクトながのの隊員が善光寺門前界限のまちの縁側をご紹介します。
ま 百聞は一見に如かず！ まちの縁側を体感しましょう。

18:00～19:00 まち歩き（まちの縁側めぐり）

定員 15人程度



☺ [担当] まちの縁側育みプロジェクトながののあるある発掘隊員

ボランティアコーディネーション力検定1・2級合格者の集い

※時間、場所などはウェブサイト、フェイスブックで告知します。今年もやります。おむすびパーティー。

☺ [担当] 1・2級検定合格者有志

オープニング

3月3日(土) 10:30～12:30

開会・オープニング全体会

原点を問う。未来を拓く。

コーディネーター あるある物語

前代未聞！ 初の試み！ 信州ならではのびっくり仰天なオープニング。

☐ コーディネーターが、日々の活動の中で出会うヒト・モノ・コトからコーディネーションの原点を問い、
掲げて立つ視点、追及する価値と果たすべき役割について課題提起します。

登場するのは信州屈指の名優（迷優？）たち！

複雑怪奇、魑魅魍魎が入り乱れるコーディネーションの現場を一緒にのぞいてみましょう。

ゲスト：ふーちゃん（富永房枝さん）、フィデア（小林フィデアさん）

コメンテーター：山崎美貴子さん（東京ボランティア・市民活動センター所長）



山崎美貴子さん



富永房枝さん



小林フィデアさん

☺ [担当] 内山二郎（公益財団法人長野県長寿社会開発センター）／山田千代子（特定非営利活動法人長野県 NPO センター）
小林俊之（個人）／小野貴規（長野市社会福祉協議会）／阿部今日子（長野市市民協働サポートセンター）

【前日】

【1日目】

☺☺ 印は担当実行委員です。

A-1 これでもいいのか？ 社協と社協ボラセン！！

社協 ぜったいにゆずれない社協魂が、ここにはある

対象 ▶ *悩める社会福祉協議会ボランティアセンター担当者（コーディネーター）
*悩める社会福祉協議会職員

定員30名

新しい事業が始まるたびに、多様なコーディネーション機能を持つセクターや多様な「〇〇コーディネーター」が生まれています。一方社協内では、ボランティアコーディネーターの立ち位置が曖昧になり“ボランティアセンターは社協の最前線（フロント）”と言われていたけれど…ボラセン＝社協の時代は終わってしまったのか？

この分科会では、そもそもなぜ社協にボラセンを設置したのか？その成り立ちと役割を過去から学び、現状（いま）の悩みを吐き出し、ぜったいゆずれない社協の強みを活かして未来を描きます。ああスッキリ！！

ファシリテーター・対談者・コメンテーター：早瀬 昇さん（社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事、JVCA 副代表理事）
対談者・コメンテーター：渋谷篤男さん（社会福祉法人全国社会福祉協議会 常務理事）

☺ [担当] 山岸久美子（安曇野市社会福祉協議会）／赤羽美香（辰野町社会福祉協議会）
福澤信輔（長野県社会福祉協議会）

A-2 「まちの縁側」は住民自らがつくる地域の安心居場所

居場所 「まちの縁側のふりかけ」で劇的に変わる居場所！その「ふりかけ」とは？

対象 ▶ *居場所づくりを推進したいコーディネーター
*住民の主体性を育みたいコーディネーター

定員30名

社会的な孤立が進む現代社会にあって、居場所の持つ力に期待が高まっています。さまざまな分野で居場所づくりが進められるようになりました。その一方でやらされ感が漂う居場所も多数見られます。自ら気づき、思いを持った住民が自発的に開く居場所（まちの縁側）は、多様性に富み、形にこだわらない新たな関係性を生む場としての可能性に満ちています。

長野のまちに「まちの縁側 5,000カ所」を目指して、育み続ける取り組みをもとに、今あるものを活かして、安心居場所に変身させる「ふりかけ（コーディネーション力）」について考えます。

講師：延藤安弘さん（特定非営利活動法人まちの縁側育み隊 代表理事）
事例発表者：☺ 西澤淑恵さん（まちの縁側育みプロジェクトながの 事務局）
松枝芳子さん（弘誓ふれあいサロン スタッフ）

☺ [担当] 村瀬和子（まちの縁側育みプロジェクトながの）／仲村三枝子（まちの縁側育みプロジェクトながの）

A-3 災害時にも生きる つながりづくり まちづくり

災 害 我が事・丸ごとの防災・減災活動

対象 ▶ *社会福祉協議会やNPO、NGO等で、防災・減災や防災教育等の活動に関わっている方や関心のある方

定員20名

阪神・淡路大震災や東日本大震災等の大規模災害をはじめ、全国各地で災害が頻発している日本。災害の経験と教訓を地域や世代を超えて共有・継承し、子どもから高齢者まで、また、性別や国籍の違い、障害の有無などによらず、地域のすべての人たちが自助・共助を担うまちづくりが、いま求められています。

この分科会では、日頃からの“顔の見える”人と人のつながりや日常的なまちづくりの活動が活発で、それが防災・減災の優れた取り組みにもつながっている事例を共有し、災害時にも生きる日常におけるコーディネーションのあり方などについて一緒に考えます。

講師・ファシリテーター：長谷部 治さん（神戸市兵庫区社会福祉協議会 地域福祉ネットワークカー・ボランティアセンター所長、JVCA 理事）
事例発表者：小山和明さん（飯綱町社会福祉協議会 地域福祉課課長補佐）

☺ [担当] 中谷隆秀（長野県生活協同組合連合会）／高田克彦（特定非営利活動法人ローカル・コミュニティ）／塩澤宏之（長野県共同募金会）



A-4

【徹底分析】リスクマネジメントの実際に学ぼう！

病院

病院ボランティア受け入れにおける事例を素材に

対象 ▶ *病院ボランティアコーディネーター、関係者
*ボランティア受け入れにおけるリスク管理に関心のあるボランティアコーディネーター

定員15名

ボランティアを受け入れる場面ではリスクも生まれます。とりわけ病院は体力や免疫力などが低下した方々がいる場所であり、個人情報やプライバシーが集まることから、外部から人を迎え入れることには慎重かつ消極的になりがちです。しかし一方で、病院におけるボランティア受け入れの効果やメリットには一定の実績と評価がされている分野であり、そのシステム作りや組織内外の調整にあたってきた実践に学ぶべきことが少なくありません。実際のコーディネーションとリスクへの対応事例を素材にしながら、その着眼点や対策などを共有しましょう。

講師：齊藤悦子さん（病院ボランティアコーディネーター研究会、JVCA理事）

事例発表者：伊東和子さん（東邦大学医療センター大森病院 ボランティアコーディネーター）

ファシリテーター：☺後藤麻理子さん（認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事・事務局長）

☺ [担当] 市瀬明美（松本市空港図書館）

A-5

生活困窮者支援の今！最前線の実践から考える

困窮

制度施行3年を振り返り、これからを語り合おう

対象 ▶ *生活困窮者支援に取り組む、あるいは関心のあるコーディネーター *生活困窮者自立支援事業担当者
*生活困窮者支援に取り組むボランティアグループ、NPO等の方

定員30名

生活困窮者自立支援制度ができて3年、果たして生活困窮者をめぐる地域の理解や支援は広がったのでしょうか。ボランティアやコーディネーターは生活困窮者支援にどう関わるようになったのでしょうか。

制度を活かした地域づくりに取り組む支援機関、制度前から支援活動に取り組むNPO、それぞれの最前線から生活困窮者支援の今について報告・提言いただき、参加者みんなでさらなる理解・共感を生むボランティアコーディネーションのあり方や可能性を考え、これからの支援を熱く語り合しましょう。

※参加者に事前アンケートを実施します。

コーディネーター：山崎美貴子さん（東京ボランティア・市民活動センター 所長）

報告者：森脇俊二さん（氷見市社会福祉協議会 事務局次長・地域福祉ボランティア推進課長）

後藤浩二さん（スーパの会 世話人）

☺ [担当] 小野貴規（長野市社会福祉協議会）／岩崎明弘（長野県社会福祉協議会）／疋田恵子（杉並区社会福祉協議会、JVCA 理事）

A-6

子ども・若者の育ちと大人の学びをつなげる

社会教育

子ども・若者たちの力を引き出すコーディネーション力を磨く

対象 ▶ *公民館職員 *子ども・若者の育ちに関心を寄せる方 *高校生など若者

定員30名

持続可能な地域づくりのためには、これからの社会を支えてくれる子どもたちや若者たちなど、次世代の育ちは大事な課題です。そのためには何よりも気づき・学びの場や機会が必要です。大人たちができることは、そういう場や機会を用意すること。次世代の育つプロセスに関わることは、大人たちにとって、そこに自分自身の役割を見つけたり、子ども・若者たちの育つ姿を通して新たに大人自身の気づき・学びを深めていくことでもあります。そういう場や機会づくりと、彼らの持つ力を引き出すことのできるコーディネーション力について考えます。

講師・コメンテーター：船木成記さん（長野県参与）

事例発表者：小池玲子さん（しがっこクラブ 事務局長）

小島一人さん（飯田市民館 館主）

コーディネーター：☺木下巨一さん（長野県教育委員会 文化財・生涯学習課 企画幹）

☺ [担当] 竹脇恵美（木曾町社会福祉協議会、JVCA 運営委員）

A-7 “ガッコウ・チキの熱いカンケイ”

学校 「ガチ」でやります！学校と地域をつなぐコーディネーション

対象 ▶ *コミュニティスクールにおけるコーディネーター
*このコーディネーターを支援する社会福祉協議会・公民館職員 *教員・教育委員会等教育関係者

定員20名

教育=学校？ 共育（子どもに関わる私達も同時に育ち合う）=学校？ + 地域？…重要な視点・論点はどこにあるのでしょうか？「子どもは未来の設計者」として、自由に学びを体験し、経験を積み上げて行きます。この「学び・体験・経験」を学校・地域が「協同」し双方がWINWINになれる実践に向けての“エネルギーや核”を生み出しませんか！

上記をコーディネーションする際のポイントを学び、信州発！コーディネーションの“免許皆伝”を目指し一緒に切磋琢磨しましょう！

講師・コメンテーター・コーディネーター：新崎国広さん（大阪教育大学教育学部教育協働学科 教授）

事例発表者：西澤和雄さん（長野市立長沼小学校りんごっ子支援の会 学校支援コーディネーター）

☺土屋慎一さん（軽井沢町社会福祉協議会 ボランティアコーディネーター）

☺[担当] 西澤慎治（北信教育事務所）／齊藤 舞（長野県社会福祉協議会）

A-8 中山間地からの発信 住民ってすごい!!

住民力 つぶやきをひろい実現につなぐ そこにはみえないコーディネーション力が

対象 ▶ *生活支援コーディネーター *住民コーディネーター
*住民力に関心のある方

定員20名

介護保険制度改正により新しい総合事業に取り組む事になった中山間地域の小さな村社協。これまで介護保険事業と村からの委託事業が中心でやってきたからさあ大変！住民同士の支えあい、住民の力が見えていない。地域の声を聞いてこなかった。そんな社協のコーディネーターが地域の方の一言がきっかけとなり、あらためて地域の輪に入れてもらい、つぶやきを『聴く』ことで、気づかなかった住民のくらしや知恵がもたらされてきた。この分科会では、事例を通してコーディネーターの悩みや課題解決について一緒に考えます。

事例発表者：三水 恵さん（小川村社会福祉協議会 ボランティアコーディネーター）、☺坂口和代さん（小川村社会福祉協議会 生活支援コーディネーター）

パネラー：吉田とし子さん（小川村住民）、大塚 一さん（小川村みんなのたまり場実行委員会）ほか3名

滝沢静子さん（長野市中条地区生活支援グループなかちゃん 会員）

コメンテーター：片桐美登さん（長野県社会福祉事業団西駒郷 地域移行推進課 アドバイザー）

ファシリテーター：☺黒岩秀美さん（長野市中条地区住民自治協議会 生活支援コーディネーター）

☺[担当] 小林ひと美（長野市社会福祉協議会）／松山裕幸（長野市中部地域包括支援センター）

A-9 都市と農山村の人々をつなぐ

環境 森林ボランティア、援農、里山再生…地域活性の「キモ」

対象 ▶ *森林整備や里山再生活動のコーディネーター
*企業・行政の担当者 *実際に活動している方々

定員30名

農山村には資源がたくさんあります。都市（都会だけでなく地方の市街地も含む）に住む人々が訪れ、農手を入れることによって資源が豊かになるとともに、地域活性につながります。そのためには、地主さんと一緒に魅力的な活動を作りだし、情報を発信し、活動者を募り、継続する仕組みを作ることが重要です。企業・市民団体・行政などさまざまなステークホルダーを巻き込み、活動を広げるボランティアコーディネーションの「キモ」について、ともに考えてみませんか？

ファシリテーター：鹿住貴之さん（認定特定非営利活動法人JUON（樹恩）NETWORK 理事・事務局長、JVCA理事）

事例発表者：山口 進さん（パナソニックエコリレージャパン 事務局長）

中島佐代子さん（特定非営利活動法人信州フォレストワーク 理事長）

☺[担当] 田村恵子（安曇野市役所）



A-10 学生を公共の担い手へ

若者 主体的な参画を促す仕組みや仕掛け

対象 ▶ *大学教職員で、正課・課外で学生のボランティアや地域貢献活動を支援している人
*学生を主体的な担い手として受け入れたい、NPO・地域・行政などの人

定員30名

学生にボランティア活動をしてもらおうと、がんばってお膳立てをすればするほど、学生の主体性が下がってしまうというジレンマがあります。ボランティア活動を通じて学生の学びや成長を促すにはどうすればいいのか？ またお手伝いレベルの参加ではなく、若者らしいエネルギーを爆発させて公共を担ってもらうにはどうすればいいのか？ 枠組みを求められる時代の中で、学生が枠を超え新しい枠を創り出すことを促す仕組みや仕掛けを考えます。

コーディネーター：赤澤清孝さん（特定非営利活動法人ユースビジョン 代表、大谷大学文学部社会学科 准教授、JVCA理事）
事例発表者：三木俊和さん（伏見いきいき市民活動センター センター長）

☺ [担当] 足立陽子（首都大学東京ボランティアセンター、JVCA 運営委員） / 小林政夫（大阪ボランティア協会、JVCA 運営委員）

A-11 施設・団体のボランティアコーディネーション

基礎研修 ボランティアマネジメントの基本を身につける

対象 ▶ *ボランティアの受け入れをしている団体・組織の担当者
*実務経験がおおむね1年未満の方

定員20名

福祉施設・事業所、病院、美術館・博物館、文化施設、NPOなどの非営利組織におけるボランティア受け入れの基本的な考え方や手法と手順、ボランティアコーディネーターの役割などを学びます。

講師：小野智明さん（横浜創英大学 こども教育学部幼児教育学科 教授）

☺ [担当] 日本ボランティアコーディネーター協会

A-12 中間支援組織のボランティアコーディネーション

基礎研修 「つなぐ」だけで終わらないコーディネーションの基本を身につける

対象 ▶ *中間支援機能をもった組織のボランティアコーディネーターおよび関連スタッフ
*実務経験がおおむね1年未満の方

定員20名

社会福祉協議会、市民活動センター、NPO 支援センター、大学ボランティアセンターなど、中間支援の役割をもった組織におけるボランティアコーディネーションの基本的な考え方やボランティアコーディネーターの役割と実務を学びます。

講師：石井祐理子さん（京都光華女子大学 健康科学部医療福祉学科 准教授）

☺ [担当] 日本ボランティアコーディネーター協会

交流会 交流会 ～おいでなして信州～

交流会 18:00～20:00

全国から集まったボランティアコーディネーターの情報交換・出会いの場です。大いに語り合い、交流を深めましょう！ 講師や事例報告者の参加も予定しています。みなさまのご参加をお待ちしています。
【お土産選手権開催!!】各地のお土産、地元自慢の銘酒・銘菓などを持ち寄っていただき、人気投票を実施します。

※このプログラムは別料金がかかります。(参加費4,000円)

会場 JA長野県ビル・アクティーホール

☺ [担当] 本藤久道（長野県社会福祉協議会） / 福澤信輔（長野県社会福祉協議会） / 廣田宜子（長野市市民協働サポートセンター）
新井厚美（長野県高齢者生活協同組合）

B-1 知らぬ間に、誘導してしまっているかもしれない、これでいいのか、あなたのコーディネーション

伝える 戦時下の情報伝達媒体を使って考えるコーディネーションのあり方

対象 ▶ *自立した住民を育てようとしているコーディネーター
*情報伝達に関心のあるコーディネーター

定員25名

☐ コーディネーターは、ただつなげばいいということではありません。正しいと思ってやっていることが、実は、誰か、意図的に、知らない間に、ある方向に誘導されてしまっているかもしれないのです。しかも、そのことに気付かずに当たり前のように実行してしまっているかもしれないのです。私たちは、歴史の大きな流れの中に存在しています。過去の歴史の中での官と民との関係、国家と庶民との関係などを、実際の「モノ・コト」を通して改めてコーディネーションのあり方を振り返ります。最近の自助、互助、共助、公助による地域への働きかけや住民支え合いの活動、災害、防災活動の住民への働きかけなど、これでいいのかと一歩立ち止まって考えてみましょう。そして、自立した住民をどう育てていくのかを、かつての戦時下の情報伝達媒体を使ってのワークショップから考えます。

講師・課題提起：信州戦争資料センターの皆さん

コメンテーター：延藤安弘さん（特定非営利活動法人まちの縁側育み隊 代表理事）

ファシリテーター：☺小林博明さん（特定非営利活動法人長野県NPOセンター コーディネーター）

☺[担当] 唐木理恵子（日本ボランティアコーディネーター協会）／西澤淑恵（まちの縁側育みプロジェクトながの）

B-2 会議の場に活かされるコーディネーションのチカラ

人材育成 「会議の見える化」の糸口としてのファシリテーショングラフィックを学ぶ

対象 ▶ *「会議」に苦手意識を持つコーディネーター
*ファシリテーショングラフィック初心者のコーディネーター

定員30名

☐ コーディネーションの現場において【伝える・広げる・深める・決める】ための「会議」。発言力のある人の意見に流されたり、一言も話せない・話さない人がいたりする「四角い会議」では、自分が会議に参加している意義すら見失う“おひとりさま”が出てきてしまいます。参加者の多様性を活かす視点からも「会議」で“おひとりさま”を出さずに皆で支え合い、繋がっていく「まあるい会議」を創り出していく必要があるのではないのでしょうか。

この分科会では「会議」そのものを見つめ直し、ファシリテーショングラフィックを学ぶ場とします。

講師・ファシリテーター：加留部貴行さん（九州大学大学院統合新領域学府 客員准教授、JVCA理事）

☺[担当] 赤羽美香（辰野町社会福祉協議会）／山岸久美子（安曇野市社会福祉協議会）

B-3 振り返ればコーディネーションのヒントが見えてくる

コーディネーション力 どうつなぐ？活動へのつなぎ方、そして活動からのつなぎ方

対象 ▶ *概ね3年～10年程度の経験を持つコーディネーター
*自身のコーディネートの振り返りをしたいコーディネーター

定員20名

待 ったなしに訪れる相談者、相談者の数だけあるコーディネーション。「これでよかったのか」と悩んだり、「フォローできていないな」と感じたり…。でも気づくと次の相談に追われ、なかなか振り返られないということはないですか？

この分科会では、日々のコーディネーションについて振り返り、分析するとともに、必要な知識・技術・視点を参加者で考え、ステップアップを図ります！

※参加者には事前に課題の提出をお願いします。

講師：筒井のり子さん（龍谷大学社会学部現代福祉学科 教授、JVCA運営委員）

☺[担当] 戸崎洋子（個人）／土屋慎一（軽井沢町社会福祉協議会）



B-4 無限の創造力でシニアの持つ“ちから”を活かすコーディネーション

シニア

コーディネーターの着想・発想・創造力でシニアの居場所と出番を考える

対象▶ *シニア、高齢者層にかかわるコーディネーター
*シニア、高齢者層の社会参加に関心のあるコーディネーター

定員30名

「人生100年時代」といわれる本格的な長寿社会が到来しつつあります。人生後半をどう生きるのか。だれもが自分らしく生きるために、コーディネーターはどのような視点でシニア・高齢者をとらえ、その経験値、学び、身体の衰えも含め、地域社会とどうつながりをつくるのか。コーディネーターの着想、発想、創造力が今求められています。

その人の豊かな生き方に関わるほんとうのコーディネーション力について、みんなで考えます。

講師・ファシリテーター：松田道雄さん（尚綱学院大学 エクステンションセンター長）

事例発表者：☉齊藤むつみさん（公益財団法人長野県長寿社会開発センター シニア活動推進コーディネーター）
（調整中）

☉[担当] 戸田千登美（長野県長寿社会開発センター、JVCA 運営委員）／岩崎明弘（長野県社会福祉協議会）

B-5 災害その時、求められるコーディネーション力

災害

本質を捉える力と視野の広い専門性・柔軟性を身につけよう！

対象▶ *社会福祉協議会やNPO、NGO等で、災害ボランティアセンターの運営に関わっている方や 関心のあ
る方

定員30名

近年、全国各地で地震や豪雨等による多種多様な災害が頻発しています。阪神・淡路大震災や東日本大震災等の大規模災害をはじめ、過去に発生した災害の被災地では“災害ボランティアセンター”が立ち上がり、多くのボランティアが被災された方の支援活動に取り組んできました。この分科会では、いま改めて原点に立ち返り、全国の被災地における事例をもとに、なぜ“災害ボランティアセンター”を立ち上げるのか、災害時に求められるボランティアコーディネーションとは何か、などその本質を問い直し、今後起こり得る災害に備えて一緒に考えます。

ファシリテーター・コーディネーター：石井布紀子さん（特定非営利活動法人さくらネット代表理事、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 事務局）

事例発表者：橋之口みゆきさん（災害NGOラブ&アース 代表）
山崎博之さん（長野県社会福祉協議会相談事業部自立支援グループ 主任）

☉[担当] 中谷隆秀（長野県生活協同組合連合会）／高田克彦（特定非営利活動法人ローカル・コミュニティ）／塩澤宏之（長野県共同募金会）

B-6 “子どもと貧困”を考える

子ども・貧困

機会の平等実現のために地域社会は何ができるか…

対象▶ *居場所づくり等を実践している機関、団体等 *NPO、社会福祉協議会、行政、学校関係者
*子どもと貧困に関心のある団体・個人だけでも

定員30名

子どもを取り巻く貧困問題は、深刻さを増しているにも関わらず潜在化し見えにくいいため、地域社会での有効な支援活動が広がっているとはいえません。子どもの育ちを応援する地域性をもった活動を広げるためには、コーディネーターが活動に参加する人たちの思いと目的を適切につなぐことが重要になっています。“子どもと貧困”をキーワードに生活困窮者支援について、制度や施策の改善を志向しつつ「地域でできる事」を見出していく場とします。

※参加申込者は、事前に活動内容を提出していただきます。

参加者の中からグループセッションでの事例発表をお願いします。

講師：大西 連さん（自立生活サポートセンター・もやい 理事長）

講師：☉小林啓子さん（長野の子ども白書編集委員会 事務局代表）

☉[担当] 美谷島越子（特定非営利活動法人フードバンク信州）

分科会 B

【2日目】

分科会の時間はすべて9時30分～13時です。

☉印は分科会の担当実行委員です。

B-7 ホンモノの協働とは!? 一緒に見てみませんか?

協働 協働をコーディネーションしたい人のための勉強会

対象 ▶ *市民活動支援センター職員
*NPOスタッフ

定員30名

世に協働という言葉が生まれて早何年? 言葉だけが独り歩きしていて、本当の意味での協働が、この世に存在するのかすらわかりません。もしかすると、協働することが目的になってしまっているのではないのでしょうか。

だからこそ、なにが協働で、なにが協働ではないのか。どこからが協働なのか。改めて、コーディネーターの視点から本当の協働について考えてみましょう。良い事例や悪い事例などをもとに自分たち自身が思う協働を考え、そこから、協働の本当の意味を導き出し、どうコーディネーションに生かしていけばいいのか学び合ひましょう。

講師・事例提供者: 北川洋一さん (公益社団法人京都観光協会 事務局長)

ファシリテーター・事例提供者: 土崎雄祐さん (宇都宮大学 地域連携教育研究センター 特任助教、JVCA運営委員)

☎ [担当] 祢津 満 (長野市地域活動支援課) / 阿部今日子 (長野市市民協働サポートセンター) / 山室秀俊 (特定非営利活動法人長野県 NPO センター)

B-8 コーディネーターは障害のある人が地域で暮らすためにどんな役割を果たしたか

障害・施設 地域に顔なじみの人をつくっていますか

対象 ▶ *障害者と関わる仕事をしている人、地域でコーディネートする福祉施設の職員
*社会福祉協議会職員

定員30名

障害のある人が自分らしく地域で暮らすために、関わる支援者、コーディネーターは何をしたらいいのでしょうか?

障害のある人の多様なニーズに気づき、そのニーズに応えていますか。障害のある人の力を信じていますか。

福祉サービスだけにとらわれない自由な発想と対応で、障害のある人のニーズに応える方法を考えます。

障害者施設でのボランティアの役割は何か、活躍の場をどうつくるか、施設にコーディネーターがいると何ができるかを、みんなで考えます。

体験発表者: 太田廣美さん (社会福祉法人絆の会 副理事長)

障害当事者 (社会福祉法人絆の会 事業所利用者) **ボランティア** (社会福祉法人絆の会 ボランティア)

ファシリテーター・コーディネーター: 片桐美登さん (長野県社会福祉事業団西駒郷 地域移行推進課 アドバイザー)

☎ [担当] 坂口和美 (社会福祉法人絆の会) / 春原み (長野保健医療大学)

B-9 「エモい」ボランティアってなんだろう?

若者 若者×ボランティアのこれからを考える

対象 ▶ *若者の市民活動参加について関心のある方など

定員25名

「ボランティア活動に関心はあるが、実際に参加したことはない」という10代~20代の若者が多くいます。その一方で、若い世代に活動に参加してもらいたいが、なかなかつながることができないという悩みを抱えている団体は少なくありません。今の若者を取り巻く社会の状況を見つめ直し、若者の「生の声」を聴きながら、次世代を担う若者世代に「ささる」ボランティアコーディネートを探求します。 ※「エモい」とは、気分の高揚や、感動、感激を表現する若者言葉です。

※参加者には事前に課題の提出をお願いします。

コーディネーター: 鹿住貴之さん (認定特定非営利活動法人JUON (樹恩) NETWORK 理事・事務局長、JVCA理事)

トークセッションゲスト: 波多腰 遥さん (学生等若者の活動コーディネーター)

☎ 齊藤 舞さん (長野県社会福祉協議会ボランティア振興グループ 主事)

トークセッションゲスト・アドバイザー: 端田篤人さん (長野大学社会福祉学部社会福祉学科 准教授)

☎ [担当] 中城隼人 (特定非営利活動法人長野県 NPO センター)



3月4日(日) 14:00 ~ 15:30

クロージング全体会・閉会

信州発(初)ここがミソ! 未来へつなぐコーディネーション 私たちは何を問い続けるのか?

2日間の学び・疑問・気持ちをみなさんと共有し、
タイトルのおり「ミソ」となるヒト・モノ・コトを読み解く作業をします。
明日からのコーディネーションの糧となる時間にしましょう。

コーディネーター：内山二郎さん (公益財団法人長野県長寿社会開発センター 理事長)

☺ [担当] 山田千代子(特定非営利活動法人長野県 NPO センター) / 小林俊之(個人) / 小野貴規(長野市社会福祉協議会)
阿部今日子(長野市市民協働サポートセンター)

【2日目】

☺ 印は担当実行委員です。

つながり広場のご案内 JVCC 期間中、会場内に“つながり広場”を開設しています!

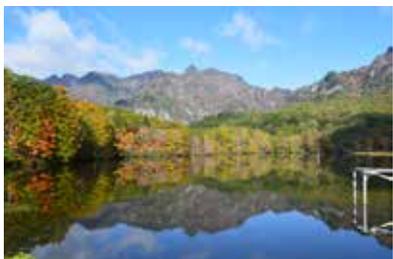
山 会いと発見がいっぱいです。ボランティアコーディネーションに役立つ情報をご紹介します。みな
山 さまのご来場をお待ちしております(^_^)

- ボランティアコーディネーションに関する図書販売
- 参加者持ち寄りによるパンフレット等情報設置コーナー
- JVCAコーナー・理事、運営委員によるプチ相談、JVCAの活動紹介、会員マップ等の展示・新規会員受付!!

(集会中に入会されると、その場でJVCC参加費の会員割引2,000円分をキャッシュバックします!!)

☺ [担当] 日本ボランティアコーディネーター協会

NAGANOの注目スポット



戸隠・鏡池



信州そば処



中条・アルプス展望広場



長野冬季オリンピック施設 エムウェーブ



松代城跡



川中島古戦場

JVCA とは……



認定特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会
Japan Volunteer COORDINATORS Association

市民の社会参加を支えるプロをめざして

JVCA がめざすもの

ボランティアコーディネーターを専門職として確立することをめざしています

事業・活動の3つの柱

1. ボランティアコーディネーターのネットワークの確立
2. ボランティアコーディネーターの専門性の向上
3. ボランティアコーディネーターの社会的認知の促進

取り組んでいる事業

①情報の収集と提供活動

- ニュースレターの発行
- メールマガジンの発信
- ホームページの運営
- 公式 facebook の運営



②全国研究集会の開催

- ボランティアコーディネーターたちが一堂に会する“全国ボランティアコーディネーター研究集会”の開催



③検定システムの実施

- ボランティアコーディネーションカ1級・2級・3級検定直前研修・検定試験の実施
- ボランティアコーディネーションカ「共催検定」の実施

④研修開催・講師派遣

- ボランティアコーディネーター初任者向け研修の開催
- ボランティアコーディネーター実務研修の開催
- ボランティアコーディネーション関連研修への講師派遣

⑤調査・研究・出版活動

- グッドプラクティス事例集 Vol.1・2の編集・発行
- 生活支援コーディネーター活動ハンドブックの発行
- グッドプラクティス認定に向けてのシステム開発

⑥ネットワークの推進

- 会員メーリングリストの運営
- 会員の交流の場 CoCo サロンの開催支援
- 外部委員の受託
- 国内外の関係団体との連携、協働

JVCA の活動は、会員の参加と会費で成り立っています。

ボランティア受入れや養成担当者、ボランティア活動推進に関わるスタッフ、研究者など、全国各地で約460人のボランティアコーディネーション業務に関わる人たちが加入しています。

詳しくはホームページをご覧ください。

■事務局

認定特定非営利活動法人 **日本ボランティアコーディネーター協会**

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 2-13 末よしビル別館 30D

TEL.03-5225-1545 FAX.03-5225-1563

E-mail : jvca@jvca2001.org <http://www.jvca2001.org/>



参加申込方法

① 申込方法

下記ウェブサイトのフォームから申し込みいただくか、裏面の参加申込書をコピーまたはダウンロードし、必要事項をご記入の上、名鉄観光サービス株式会社長野営業所まで郵送または FAX でお申し込みください。

JVCC 2018 [Web ページ] <https://www.jvcc2018.jimdo.com>

■「WEB 早割」の申込みは、**2018 年 1 月 26 日（金）午後 5 時まで！**

※ WEB 早割で申込みいただいた方は、参加費から 1,000 円を割引きます。郵送または FAX でのお申し込みの場合は、割引期間内でも上記割引は適用されませんのでご注意ください。

■申込締切は、**2018 年 2 月 2 日（金）**です。

※確認のため控え（コピー）を保管してください。

※締切日前に定員に達した場合は、その時点で締切とさせていただきますので、お早めにお申し込みください。

② 参加費のご送金

参加申込み受付け後、メールまたは FAX で入金手続きのご案内をお送りしますので、参加費等を振り込みください。

※参加費等の入金をもって、正式な申し込みといたします。

※ご入金後は原則として返金できませんのでご了承ください。

※集会中に JVCA に入会されると、会員参加費との差額をキャッシュバックします！会場内の「つながり広場」で入会手続きをされると、その場で差額 2,000 円をご返金します。

※ 宿泊について

宿泊の手配は事務局では行いませんので、各自でお願いいたします。なお、名鉄観光サービス株式会社長野営業所では、本大会参加者向けに「web 限定特別宿泊プラン」を用意しています。詳細は、ウェブサイトのフォームをご覧ください。

【ホテル JAL シティ長野】・各会場より徒歩約 1 ～ 2 分。

・宿泊料金 シングルルーム 1 泊朝食付 7,000 円 / 税サービス料込み

・宿泊設定日 3 月 2 日（金）、3 日（土）、4 日（日）

★ 参加申込書に関する個人情報の取り扱いについて

※裏面の参加申込書にご記入いただいた個人情報は、本研究集会の開催に必要な連絡調整、担当実行委員・講師への告知、今後の本研究集会と日本ボランティアコーディネーター協会の事業のご案内のみの目的で使用します。

●ただし、参加者同士の交流のために、氏名、都道府県、所属団体、参加分科会は「参加者名簿」に掲載し、全参加者・全スタッフに配布します。

●参加される分科会によっては、本要項に明記されていない場合でも、事前アンケートをお願いしたり、事前にメーリングリストが設置されたりすることがあります。

問い合わせ先

**全国ボランティアコーディネーター研究集会 2018 信州
実行委員会事務局（特定非営利活動法人長野県 NPO センター内）**

〒381-0034 長野県長野市大字高田 1029-1

Tel : 026-269-0015 Fax : 026-269-0016

Email: jvcc2018@npo-nagano.org

URL : <https://www.jvcc2018.jimdo.com>

参加
申込書

■郵送：〒381-0038 長野市東和田 857-1 信州名鉄長野ビル7階

■FAX：026-217-8151

郵送及びFAXの宛先は、いずれも「名鉄観光サービス株式会社長野営業所 JVCC2018 信州 担当」。

★すべて必須項目です。太枠内を正確かつハッキリとご記入ください。

ふりがな			<input type="checkbox"/> 女	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> JVCA 正会員 <input type="checkbox"/> JVCA 準会員
名前		歳代	<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> ボランティアコーディネーションカ1級検定合格 <input type="checkbox"/> ボランティアコーディネーションカ2級検定合格 <input type="checkbox"/> ボランティアコーディネーションカ3級検定合格
所属団体 (正式名称)				役職・担当
連絡先	(〒 -)			
<input type="checkbox"/> 職場	都道			
<input type="checkbox"/> 自宅	府県			
	TEL	携帯電話		
	FAX	E-mail		

あなたが、ボランティアコーディネーションに関わった年数	年 月
あなたの活動形態	<input type="checkbox"/> 専任でボランティアコーディネーション業務を担当 <input type="checkbox"/> 以前、担当していた <input type="checkbox"/> 兼任でボランティアコーディネーション業務を担当 <input type="checkbox"/> 担当したことはない
あなたの所属団体の活動分野 もっとも近いものを1つ選んで下さい。	<input type="checkbox"/> 社会福祉 <input type="checkbox"/> 保健・医療 <input type="checkbox"/> 社会教育 <input type="checkbox"/> 青少年育成 <input type="checkbox"/> 環境保全 <input type="checkbox"/> 学校関係 <input type="checkbox"/> 国際交流・協力 <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> まちづくり <input type="checkbox"/> 災害救援 <input type="checkbox"/> 企業関係 <input type="checkbox"/> 中間支援(ボランティアセンターなど) <input type="checkbox"/> 国・自治体 <input type="checkbox"/> その他()
JVCCへの参加回数	<input type="checkbox"/> 初めて <input type="checkbox"/> 2回目 <input type="checkbox"/> 3回目 <input type="checkbox"/> 4回以上

▼参加希望分科会 ※必ず第3希望までご記入ください。

		分科会番号	参加の動機(分科会決定時の参考としますので、できるだけ詳しくご記入ください。)
3月3日(土)	分科会A	第1希望：A-	
		第2希望：A-	
		第3希望：A-	
3月4日(日)	分科会B	第1希望：B-	
		第2希望：B-	
		第3希望：B-	
交流会 3月3日(土) <input type="checkbox"/> 参加(参加費4,000円) <input type="checkbox"/> 不参加			

▼参加費 一般12,000円(WEB早割11,000円)、JVCA正会員・準会員10,000円(WEB早割9,000円)

あなたの参加費は・・・	研究集会参加費	交流会参加費	合計
(★ご自身でご記入下さい)	円	円	円
	+	=	

特に配慮が必要な点があればご記入下さい：車いす利用 その他()

事務局 記入欄	受付日	受付連絡日	入力日	通知発送日	3/3分科会	3/4分科会	交流会		

※郵送の場合は、コピーしたものをお送りください。本紙は保管してください。